

# 市議会だより



令和2年12月22日 千厩保育園 「クリスマス会」

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| ●12月定例会報告……………2～7 | ●議会運営委員会活動報告……………18～19 |
| ●一般質問……………8～16    | ●市民と議員の懇談会報告……………20～22 |
| ●臨時会報告……………17     | ●市民の声……………23           |

# 第80回市議会定例会（12月定例会）

## 一関市総合計画後期基本計画の策定 新たな指定管理者の指定など



第80回一関市議会定例会を12月8日から12月18日までの11日間で開催しました。

この定例会では、条例の一部改正、令和2年度一般会計補正予算、一関市総合計画後期基本計画の策定、指定管理者の指定など市長提案議案は全て可決されました。

また、委員会発議では一関市議会会議規則の一部改正を原案のとおり可決。議員発議では、1件の意見書が出され、原案のとおり可決しました。

一般質問には15人の議員が登壇し、市政課題について活発な議論を交わしました。

なお、会議冒頭に12月3日に急逝された故石山健議員の市政発展に尽くされたご努力を称え黙祷、哀悼の意が表されました。

### 議案審議

審議した主な案件は次のとおりです。

#### 条例改正・廃止

○議案第93号 一関市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税を軽減する世帯の所得の基準額を定めるなど、所要の改正をしようとするもの。

（賛成満場により可決）

○議案第94号 一関市県営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について

県営農村地域防災減災事業業角屋地区が完了したことに伴い、事業の区域から角屋地区を削除しようとするもの。

○議案第95号 一関市川崎

（賛成満場により可決）

農業活性化センター条例を廃止する条例の制定について

令和2年12月31日をもって、川崎農業活性化センターを廃止しようとするもの。

#### 質疑

川崎農業活性化センターは誘致企業の現地事務所に3年間貸すことになるが、その後の取り扱いが。

#### 答弁

この施設を貸し付けることとしている(株)プレステージ・インターナショナルへの貸付期間は令和6年3月末までを予定している。貸付期間終了後は、市の普通財産として管理し、公募等を含めて、新たに施設利用者を募り、施設の有効活用と地域の活性化を図ってまいりたい。

（賛成満場により可決）

○議案第96号 一関市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

総務省令の改正に伴い、電気自動車等の急速充電設備の全出力の上限を拡大し、あわせて火災予防上必



必要な措置を定めるなど所要の改正をしようとするもの。

(賛成満場により可決)

※発委：委員会からの提案

○議案第10号 一関市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

提案者

議会運営委員長

勝浦伸行

通年議会導入に当たり、所要の改正をしようとするもの。

(賛成満場により可決)

## 補正予算

○議案第97号 令和2年度

一関市一般会計補正予算

(第10号) について

超高速情報通信基盤整備事業補助金の減額、岩手県新型コロナウイルス感染症対策資金保証料補給補助金の増額、水稲次期作特別支援補助金の追加など、所要の補正をしようとするもの。

**質疑** 水稲次期作特別支援

補助金について、その内容

は。

**答弁**

次期の水稲作付面積について、岩手県農業再生協議会から一関地方農業再生協議会に示された、当市の令和3年度主食用米の生産目安面積が5631ヘクタール、令和2年度主食用米作付面積は5733ヘクタールなので、約100ヘクタール主食用米の作付面積を減らす必要がある。特別支援補助金の対象となる水稲の作付面積については、主食用米の生産目安面積である5631ヘクタールと主食用米以外の飼料用米等の生産見込み面積1507ヘクタールを合わせた計7138ヘクタールと見込んでいる。一関地方農業再生協議会において、個々の農業者に対する令和3年度主食用米の生産目安の配分方針について検討を行っているところ。国では転作物への転換を促すために、輸出や加工用米、麦、大豆、飼料用米などへの支援拡大や、都道府県の

独自支援に対する上乗せなどの支援策を検討しており、岩手県では、主食用米の生産目安面積の減少に対応するため、今後必要が見込まれる飼料用米の作付面積の拡大が進むよう飼料用米の新規作付に対し、主食用米との収入の差を補う

国の水田活用直接支払交付金を活用した新たな支援策を検討していると伺っている。当市でもこれらの支援策の積極的な活用を推進していく。

(賛成満場により可決)

○議案第140号 令和2

年度一関市一般会計補正予

算(第11号) について

地域企業経営継続支援給付費の追加、ひとり親世帯臨時特別給付金事業費の増額など、所要の補正をしようとするもの。

(賛成満場により可決)

## 請負契約の締結

○議案第98号 一関市立室

根小学校校舎・屋内運動場

等建設(建築) 工事の請負

契約の締結について

令和2年11月12日、入札に付したところ、(株)三ツ矢建設工業が落札したので、同社と9億3830万円で請負契約を締結しようとするもの。

(賛成満場により可決)

○議案第99号 一関市立室根小学校校舎・屋内運動場等建設(電気設備)工事の請負契約の締結について

令和2年11月12日、入札に付したところ、(株)電友社一関営業所が落札したので、同社と1億8216万円で請負契約を締結しようとするもの。

(賛成満場により可決)

○議案第100号 一関市立室根小学校校舎・屋内運動場等建設(機械設備)工事の請負契約の締結について

令和2年11月12日、入札に付したところ、(株)フジテック岩手が落札したので、同社と2億8708万3500円で請負契約を締結しようとするもの。

するもの。  
(賛成満場により可決)

財産の取得

○議案第101号 財産の取得について

産業用地として真柴字矢ノ目地内の土地7万6143.27平方メートルを岩手県及び(株)壹岐家具店から2億5140万円で取得しようとするもの。

【質疑】南光病院跡地に立地予定の(株)プレス・インターナショナルとはどのような企業か。

【答弁】BPO、ビジネス・プロセス・アウトソーシング事業を行う会社で、具体的に述べると、1つ目は、損害保険会社、自動車メーカー、自動車ディーラーなどからの委託により、これらの顧客である保険加入者などの緊急要請に対し、24時間、365日体制で相談対応を行い、自社グループの現場対応ネットワーク及びIT技術を駆使し、あらゆる自動車トラブルに対し、顧客への一貫したサービスを提供するロードアシスト事業と呼ばれる事業、2つ目は、住宅の水漏れや鍵開け、ハウスクリーニングなど住まいに関する業務や、コインパーキングやカーシェアリングで起こるトラブルや保守点検等を24時間、365日体制で総合的にサポートするプロパティアシスト事業と呼ばれる事業、3つ目は、海外旅行保険の被保険者に対し、海外での24時間日本語受付サービスや緊急医療サービスといった海外旅行時に見舞われるトラブルについて解決までの一貫したサービスを提供するインシュアランスBPO事業と呼ばれる事業、4つ目は、自社グループの保険会社が、自動車や住宅設備メーカー等が製品保証期間終了後に顧客サービスの一環として実施する延長保証や賃貸住宅、マンション管理、

運営会社に対する家賃補償などを提供するワランテイ事業と呼ばれる事業を行っている。

(賛成多数により可決)

○議案第102号 財産の取得について

花泉中学校に配置するスクールバス用車両を更新するため、取り扱いが可能な2者から見積書を徴し、予定価格の範囲内で最低価格者である岩手日野自動車(株)一関営業所から3344万円で取得しようとするもの。

(賛成満場により可決)

○議案第141号 財産の取得について

一関市立小中学校学習用ソフトウェアを整備するため、令和2年12月4日入札に付したところ、リコージャパン(株)販売事業本部岩手支社岩手営業部が落札したので、同社から1億8800万円で取得しようとするもの。

(賛成満場により可決)

専決処分

※専決処分：地方自治法(昭和22年法律第67号)第179条第1項の規定により、特に緊急を要するため議会を招集する時間がないことが明らかである事項について首長(市長)の判断で決定すること。

○報告第17号 道路の管理に係る損害賠償に関する専決処分の報告について

その他

○議案第92号 一関市総合計画後期基本計画の策定について

令和7年度を目標年次とし、社会経済情勢の変化に対応し、さらなる市政の発展と市民福祉の増進を図るため、基本構想に基づき総合的かつ計画的な行政運営と中長期的な施策の展開方法を定めようとするもの。

【質疑】総合計画後期基本計画の策定において、現時点で新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きい。

令和7年度を目標年次とし、社会経済情勢の変化に対応し、さらなる市政の発展と市民福祉の増進を図るため、基本構想に基づき総合的かつ計画的な行政運営と中長期的な施策の展開方法を定めようとするもの。

重点プロジェクトに、新型コロナウイルス対策とアフターコロナ対策を追加すべきではないか。

**答弁** 第一部の重点プロジェクトには、位置づけをおらず、新型コロナウイルス感染症対策については、総合計画審議会でも、重点プロジェクトに盛り込むべきという議論もなされた。感染症の影響がどの程度続くか不明であることなどにより、目標とした数値はもとより、項目そのものも、社会情勢の変化によって修正を余儀なくされることとが予想されるため、重点プロジェクトではなく、他の部門で盛り込むとの結論に至った。このような検討を踏まえて、新型コロナウイルス感染症など新しい生活様式の実践に今後とも取り組む必要があるものと判断し、どのような点に留意してまちづくりを進めるのか、その推進方針を示す第3部となるまちづくりの

進め方の中の一つの大項目に位置づけ、「新しい日常」の推進として盛り込んだところ。

**質疑** 後期基本計画には、コミュニティの拠点である自治集会所や市民センターの整備を進めるとあるが、どのように進めていくか。

**答弁** 集会所や市民センターの施設整備については、自治会からは、集会所に関する要望として、集会所の施設維持管理費に対する補助金の増額や集会所の敷地内への井戸の整備を補助対象に、浄化槽設置に対する補助金の増額や集会所の解体への支援などの要望が寄せられている。これら

の要望のうち、施設維持管理費に対する補助金の増額や集会所の敷地内への井戸の整備を補助対象とすることについては、既に自治会等活動費総合補助金制度の補助対象経費を見直し、対応しているところであり、その他の要望については、

今後、支援のあり方を含め、検討していくこととしている。また地域協働体からは、市民センターに関する要望として、照明のLED灯への交換、冷暖房機の更新、経年劣化による建物や外構の補修など、施設の改修や修繕について要望が多く寄せられている。この要望については、緊急性や優先度、財政的な負担などを踏まえ、計画的に実行していくこととしている。

(賛成満場により可決)  
○議案第139号 市道路線の認定について

町田芦沢線を市道路線に認定しようとするもの。  
(賛成満場により可決)

### 請願審査

○請願第6号 油島九区集落(5・1行政区)内市道路線(下原田く鴻ノ巣線)の道路拡幅工事請願

請願者

花泉町油島

川島登ほか94名

(賛成満場により採択)

○請願第7号 私学教育を充実・発展させるための請願

請願者

私学助成を進める

岩手の会

会長 土屋直人

(賛成多数により採択)

○請願第8号 一関市としての気候非常事態宣言についての請願

請願者

砂鉄川水源の森を

守る会 会長 小原結

(賛成満場により採択)

### 意見書

可決した意見書については関係機関へ送付しました。審議の結果は次のとおりです。

※発議：議員からの提案

○発議第3号 私学助成の充実を求める意見書について

提出者 千田恭平

賛成者 菅原 巧

岩淵典仁

岡田もとみ

千葉大作

岩淵善朗  
佐藤雅子  
(要旨)

私立学校は、公教育の一翼を担い学校教育の充実、発展に寄与しているが、経営基盤は厳しい環境に置かれており、保護者の学費負担は家計を大きく圧迫している。また生徒一人当たりにかけられる教育費が公立学校と比べて低いことが、教育諸条件が改善されない大きな要因になっている。このような事情を勘案し、私学助成について過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金をさらに充実することを求める。

(賛成多数により可決)

### 指定管理者の指定

令和3年4月1日から表1のとおり施設の指定管理者を指定することとした。

**質疑** 同じ目的、同じ使い方をする中で、指定管理料があるものとならないものについての根拠は。

**答弁** 指定管理料の有無については、平成26年7月の行財政改革推進本部において方針決定された、自治集会所として使用する公の施設に係る管理主体の適正化についてに基づき判断している。この方針では、公の施設のうち単一の行政区のみが自治集会所として使用しているものについては、地元自治会への譲渡を検討することとしているが、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律による財産処分制限がある施設については、その制限期間中は公の施設として管理することとしている。また、地元自治会での自主的な管理を行っていたため、施設管理に係る経費についても地元自治会に負担していただくこととしている。

(賛成満場により可決)

【表1 指定管理者指定施設一覧】

指定管理者に管理を行わせる公の施設の名称	指定管理者となる団体	指定期間の満了日	新規・更新の別
藤沢情報通信センター	株式会社一関ケーブルネットワーク	R8.3.31	更新
一関市永井市民センター	永井地域コミュニティ活性化協議会	R8.3.31	新規
高倉コミュニティセンター	永井地域コミュニティ活性化協議会	R6.3.31	新規
一関市興田市民センター	興田地区振興会	R8.3.31	新規
大東開発センター	興田地区振興会	R8.3.31	新規
一関市興田市民センター天狗田体育館	興田地区振興会	R8.3.31	新規
一関市興田市民センター中川体育館	興田地区振興会	R8.3.31	新規
一関市興田市民センター京津畑体育館	興田地区振興会	R8.3.31	新規
一関市興田市民センター丑石体育館	興田地区振興会	R8.3.31	新規
大東バレーボール記念館	興田地区振興会	R8.3.31	新規
一関市興田市民センター興田体育館	興田地区振興会	R6.3.31	新規
伊勢館公園野球場	興田地区振興会	R6.3.31	新規
伊勢館公園テニスコート	興田地区振興会	R6.3.31	新規
一関市磐清水市民センター	磐清水自治協議会	R8.3.31	新規
磐清水文化センター	磐清水自治協議会	R8.3.31	新規
一関市田河津市民センター	田河津振興会	R8.3.31	新規
一関市川崎市民センター	川崎まちづくり協議会	R8.3.31	新規
並木ヶ丘コミュニティグラウンド	藤沢町モータースポーツ協会	R6.3.31	新規
一関文化センター	特定非営利活動法人一関文化会議所	R8.3.31	更新
一関勤労青少年ホーム	特定非営利活動法人一関文化会議所	R6.3.31	更新
一関市女性センター	特定非営利活動法人一関文化会議所	R6.3.31	更新
千厩こがね館	南小梨自治会	R8.3.31	更新
室根第4区集落センター	浜横沢地区自治会振興会	R6.3.31	更新
室根田茂木地区コミュニティセンター	田茂木自治会	R6.3.31	更新
室根ひこばえの森交流センター	矢越地区自治会振興会	R6.3.31	更新
室根第15地区会館	矢越地区自治会振興会	R6.3.31	更新
室根交流促進センター	津谷川地区自治会振興会	R6.3.31	更新
西口コミュニティセンター	西口自治会協議会	R6.3.31	更新
西口地区体育館	西口自治会協議会	R6.3.31	更新
本郷白藤交流館	本郷地区自治会協議会	R6.3.31	更新
曲田地区ふれあいセンター	曲田地域自治会協議会	R6.3.31	更新
陶芸センター	深萱自治会	R6.3.31	更新
新沼コミュニティセンター	新沼地区自治会協議会	R6.3.31	更新
郷土文化保存伝習館	藤沢町文化振興協会	R6.3.31	更新
藤沢スポーツランド	藤沢町モータースポーツ協会	R6.3.31	更新
一関市藤沢市民センター	藤沢町住民自治協議会	R8.3.31	更新
一関市藤沢市民センター黄海分館	藤沢町住民自治協議会	R8.3.31	更新



# 市政課題で活発な論戦

第80回定例会の一般質問は12月10日、11日、14日の3日間、15人の議員が登壇し、活発な議論を展開した。なお、内容については各議員の文責である。

## 12月10日(木)

### 永澤 由利 議員

- 1 株式会社プレステージ・インターナショナルの進出について
- 2 生活道路の整備要望に対する取り組みについて
- 3 性犯罪・性暴力対策の強化と安全教育について
- 4 コロナ禍における介護従事者・医療従事者支援について
- 5 子育て環境整備の強化について

### 佐藤 浩 議員

- 1 一関市汚水処理計画について
- 2 高校生への就学支援について
- 3 空家等対策について
- 4 都市計画道路の未完成路線について

### 岩淵 善朗 議員

- 1 総合計画後期基本計画について

### 小岩 寿一 議員

- 1 防災・減災対策について
- 2 保健福祉について
- 3 行政のデジタル化について
- 4 新型コロナウイルス感染症対策について

### 那須茂一郎 議員

- 1 新型コロナウイルス感染症に対する支援事業に係る税の申告について
- 2 一般ごみの分別強化について

## 12月11日(金)

### 菅原 巧 議員

- 1 住民の移動手段の確保策について
- 2 デジタル社会を見据えたマイナンバーカードの活用について

### 千田 恭平 議員

- 1 気候変動への対応について
- 2 資源・エネルギー循環型まちづくりについて
- 3 公共施設使用料について
- 4 県立高等学校再編計画への対応について

### 藤野 秋男 議員

- 1 国民健康保険世帯への支援策について
- 2 生活道路の整備事業策について

### 岩淵 優 議員

- 1 地方創生について
- 2 少子化対策について
- 3 子育て支援について
- 4 空き家対策について

### 佐藤敬一郎 議員

- 1 栗登一平政策と県境地域の課題について
- 2 地域医療と新型コロナウイルス感染症対応について
- 3 調査・測量設計の入札について

## 12月14日(月)

### 岡田もとみ 議員

- 1 新型コロナウイルス感染症対策の充実について
- 2 高齢者・介護・障がい者施設等の新型コロナウイルス感染防止対策について
- 3 認知症高齢者の支援策について

### 岩淵 典仁 議員

- 1 森林・林業政策について
- 2 教育行政について

### 佐々木久助 議員

- 1 空き家、空き店舗の現状と対策について

### 菅野 恒信 議員

- 1 コロナ禍を踏まえた中長期的な行財政運営について
- 2 コロナ禍から子供を守る施策について

### 千田 良一 議員

- 1 肉用牛の「磐井牛」ブランド復活について
- 2 一関市総合計画前期・後期基本計画について

次のページから各議員の  
※QRコードをカメラ付き携帯電話で読み取ると、一般質問の様子をご覧になれます!

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。







永澤 由利 議員



- プレステージ・インターナショナル進出
- 生活道路要望の説明は
- 性犯罪・性暴力対策の強化と安全教育

**答弁** 令和元年度末で、市道の整備要望の路線は、412路線である。現在整備を進めている路線が58路線、残り364路線が未着手になっている。優先順位は、1つには交通量、利用戸数道路の幅員、急カーブや急勾配の状況など整備を必要とする緊急度を見る。そのほか、道路用地の権利関係、地権者の協力の

**質問** 進出企業の概要は。  
**答弁** プレステージ社の業種は、ビジネス・プロセス・アウトソーシングという業種で、単なる人材派遣ではない。外部企業の業務プロセスをまるごと受注する形態をとっている会社である。これまでの各拠点の従業員は7割以上が女性社員であり雇用計画は、令和6年3月までに180人程度を雇用する。

**質問** 市民からの生活道路の整備要望は、多く寄せられている。市内道路の舗装率は、54・0%であり市民の要望に応えられていない状況にある。未着手の路線数や優先順位の決め方を伺う。

**質問** 岩手県において年間50〜60件の性犯罪が認知されている。この被害の実態がわかりにくく、被害が潜在化している。おそれがある。市での対策と現状は。  
**答弁** 平成26年5月に性暴力等犯罪被害者総合案内窓口を設置した。また、公益社団法人岩手被害者支援センターへの情報提供や連絡調整を行っている。

**質問** 状況や地域ごとの個別事情も考慮して総合的に判断している。要望の今後の見通しについて問合せがあった場合などに詳しく説明をしているのか、道路整備の地区懇談会などの機会を捉えて行っている。

誰にも相談できず悩んでいませんか？  
ひとりで抱え込まないで、わたしたちに相談してください。  
岩手県性犯罪・性暴力被害者支援

**はまなすサポート**

相談専用電話  
はまなすサポートライン  
019-601-3026  
平日10:00~17:00  
(土・日・祝日を除く)

朝: 夜、土・日等(年末年始は除く)はこちら  
0570-783-554 7:30~22:00

岩手県性犯罪・性暴力被害者支援 はまなすサポート

一般質問



佐藤 浩 議員



- 公共下水道に接続する新たな支援制度は
- 市外から就学する高校生への支援は
- 都市計画道路未完成路線の今後の整備計画は

**質問** 下水道管路整備後に接続していない理由として、既に合併浄化槽を設置している、接続するには再度多額の費用がかかるので工事はできない、このような市民が多くいるので、接続するための新たな支援制度の考えは。  
**答弁** 接続意向調査の中で、もう既に合併浄化槽を設置しているのので、浄化槽が壊れるまで接続する意向はありません、との声が多くある。浄化槽を撤去して、つなぎかえるのに多額の工事費用がかかるが、それに対する支援がなく、課題と捉えている。

**質問** 市外から就学している高校生の数は。  
**答弁** 市外出身者の高校生、専門学校生、短期大学生は1557人である。

**質問** 高校生が一関市に来て勉強、スポーツに励むにあたり、就学支援制度の考えは。  
**答弁** 若者がこの地域に集まっていただけということからは、地域活性化の面からも非常に大切なことである。絶対に寄宿舎と下宿を営んでいる。



完成が待たれる中央町上袋線

**質問** 都市計画道路中央町上袋線及び青葉町堺線の整備予定は。  
**答弁** この2路線は、東北自動車道と直結する国道342号及び国道4号に接続して、交通ネットワークを形成する幹線である。再検証の中でも、一部整備済みの路線であり、都市計画道路としての位置づけを継続する路線として考えている。この2路線を含め市全体の未整備区間のあり方について、総合的に検討する。

**質問** 下水道管路整備後に接続していない理由として、既にそれらの業を始められる方については、サポートも既存の制度を十分適用できると考えられる。

○ 総合計画前期計画の成果と課題は  
○ 新型コロナの後期計画への影響は



岩瀬 善朗 議員



**質問** 総合計画後期計画は今後5年間の当市の未来への指針、市民に対する行政の約束であると認識している。前期計画の成果と課題はどのようなにかされたのか。

**答弁** 成果と進捗を表すため133の数値目標を定め、毎年度評価を行っている。特に高い実績は公衆Wi-Fiの利用率や、外国人入込客数など14項目が120%以上の実績を上げた。また、マイナンバーカードや燃料用チップの生産量が50%を大きく割り込み7項目が50%未満であり、前期計画の評価と検証をふまえて施策の検討と目標を設定した。



中東北の拠点都市一関市で働こう

**質問** 総合計画後期計画は今後5年間の当市の未来への指針、市民に対する行政の約束であると認識している。前期計画の成果と課題はどのようなにかされたのか。

**答弁** 成果と進捗を表すため133の数値目標を定め、毎年度評価を行っている。特に高い実績は公衆Wi-Fiの利用率や、外国人入込客数など14項目が120%以上の実績を上げた。また、マイナンバーカードや燃料用チップの生産量が50%を大きく割り込み7項目が50%未満であり、前期計画の評価と検証をふまえて施策の検討と目標を設定した。

**質問** 総合計画後期計画は今後5年間の当市の未来への指針、市民に対する行政の約束であると認識している。前期計画の成果と課題はどのようなにかされたのか。

**答弁** 成果と進捗を表すため133の数値目標を定め、毎年度評価を行っている。特に高い実績は公衆Wi-Fiの利用率や、外国人入込客数など14項目が120%以上の実績を上げた。また、マイナンバーカードや燃料用チップの生産量が50%を大きく割り込み7項目が50%未満であり、前期計画の評価と検証をふまえて施策の検討と目標を設定した。

○ マンホールトイレの設置状況は  
○ 妊婦への独自給付金の支給は  
○ インフルエンザに対する助成の拡大は



小岩 寿一 議員



**質問** 現在、マンホールトイレが設置されている場所は。図書館、一関保健センターの3カ所です。

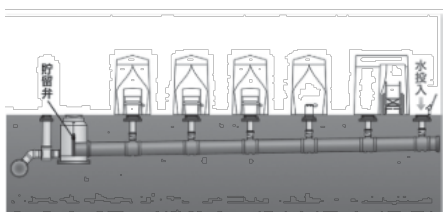
**答弁** 県では、新型コロナウイルス禍における出産と妊婦の安心確保の支援は、

**質問** 指定避難所への今後の設置予定は。

**答弁** 避難所となる施設の建てかえや改修工事の機会を捉えて検討していきたい。

**質問** 新生児特別給付金の対象とならない令和3年4月1日以降に出産予定の妊婦に対し給付金を支給する考えはな

**答弁** 国の特別定額給付金の対象とならない本年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた子供の保護者に対し、市独自に新生児特別定額給付金を支給することとしたので、本年度以降に生まれてくる子供を対象とする制度とはしていないことから、令和3年4月1日以降に出産を予定している妊婦の方は支給の対象とはならない。



マンホールトイレのイメージ図

**質問** コロナ禍において家計の負担が大変なこの時期に、高校3年生の皆さんが安心して受験や就職活動に励んでもらうためにも、高校3年生にインフルエンザの予防接種の助成をする考えはあるか。

**答弁** 市では本年度、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行を抑えるため、重症化しやすい高齢者、小児に対してインフルエンザの予防接種への助成額を増額した。



那須茂一郎 議員



## ○ コロナ関連の給付金、補助金の税の申告は ○ 分別を強化して焼却ごみを減量して資源化へ

**質問** 新型コロナの影響で多くの業者の皆さんが大変な苦勞をなさっている。

そこで、国、県、市は多種多様な補助金、給付金、支援金を出して営業や生活を守ろうとしている。

しかし、その多くが税の申告時に収入、所得の一部として申告するとされている。それらは、どの所得に区分するのか。

**答弁** 課税の対象となるものは、事業に関連して支給されるものは事業所得、事業に関連しないもので、臨時的に一定の所得水準以下の方に対して一時に支給されるものは一時所得、事業所得や一時所得に該当しないものは、雑所得と区分されている。なお、各種給付金の税制上の取り扱いについて不明な場合は税務署に確認をしている。

**質問** ごみ減量化に向けて市でも数年前から、年2%、5年で10%減らす計画があると言っている。その進捗状況を伺いたい。分別の強化は焼却ごみ減量化や資源化の促進に大きな

取り組みとなる。ガソリン車まで規制される2030年代、電気自動車や水素自動車



ゴミ処理は分別が大切です

取り組みとなる。ガソリン車まで規制される2030年代、電気自動車や水素自動車

が走っている時代に、ごみの焼却は規制されないからと言って燃やすことは、世間のひんしゆくを買うことになるのではないかと。

**答弁** 確定している平成29年度、30年度で答弁すると、平成29年度は1人1日当たりの廃棄物排出量は目標値814gに対して、実績は832g、平成30年度は目標値797gに対して実績は828g、目標は達成できていない状況となっている。

確定している平成29年度、30年度で答弁すると、平成29年度は1人1日当たりの廃棄物排出量は目標値814gに対して、実績は832g、平成30年度は目標値797gに対して実績は828g、目標は達成できていない状況となっている。

## ○ デマンド型乗り合いタクシーの導入時期は ○ 引きこもり対策にオンライン導入を



菅原 巧 議員



**質問** 勝部市長は議場で将来の話をした際に「各地域にデマンド型乗り合いタクシーを導入して各地域間はJR東日本、岩手県交通にお願いしたい」との趣旨の発言があった。私はよい考えだと聞いたが、導入時期はいつごろと考えているのか伺う。

**答弁** 高齢化がここまで進んできていの中で、中山間地帯における高齢者の足の確保は最も重要な地域課題になっていくと思われる。買い物難民という言葉も現実のものとなりつつある状況の中で、高齢者に対する支援をどのように組み立てていくとか、地域事情もあるが、全体の中でデマンド型乗り合いタクシーをどう位置づけるか、あるいは現在の公共交通機関の路線が走っている、それらをどう組み合わせるかを今検討している最中であり、足の確保ができない高齢者を取り残さなことが大前提になると思うが、具体的なスケジュールは詰まっていない。

**質問** 今後はどこでも光ケー

ブルの導入が可能になることから、引きこもり対策として条件の整っている地域から小中学校の児童生徒の不登校にオンラインを活用できないか伺う。

**答弁** リモート、オンラインの相談となると、相談する側とされる側、双方のオンライン環境が整っていること、本人、家族の希望があることが前提になる。実施している自治体もあり、先進事例も参考に考えたい。不登校児童生徒についても家庭内にWiFi環境があることや本人がオンラインに乗ってくれること、家庭の協力も必要であり、その辺も含め積極的に活用について検討したい。



油島地域を走るデマンドタクシー

- 気候非常事態宣言を行う考えは
- 新処理施設建設に際しCO<sub>2</sub>抑制の視点は
- 県の高校再編計画に対する考えは



千田 恭平 議員



**質問** 気候非常事態宣言について市の考えは。

**答弁** 現在検討を進めている。当市の環境基本計画及び資源エネルギー循環型まちづくりビジョン、そして国が本年中に策定を予定している二酸化炭素排出削減に向けた実行計画の内容を踏まえて、宣言の形、あるいは宣言の時期について、現在具体的に検討しているところである。

**質問** 新処理施設の建設に際して、エネルギー回収、CO<sub>2</sub>排出抑制の視点はどう反映されるのか。

**答弁** 焼却方式が現時点で最もと評価したが、堆肥化など資源化率の高い処理方式を付加的に導入することも検討していく。現在、廃棄物処理に使用している電力は電力会社から購入しているが、新処理施設では廃棄物を燃焼させ蒸気をつくり、発電した電気を工場や敷地内の関連施設で使用する。二酸化炭素の排出量を減らすことができる。

**質問** 資源回収に取り組んでいる団体への報奨金増額の考

えは。

**答弁** 報奨金は平成18年から、金属類・古紙類1キログラム、ビン類4円を交付している。令和2年度からはペット

ボトルも回収品目に加えており引き続き同額で支援したい。

**質問** 県は水沢工業高校、一関工業高校、千厩高校産業技術科を1つにする計画を発表したが、今後の働きかけは。

**答弁** 広域圏を超える統合で、通学の負担が増すこと、身近に工業系の学校がなくなることから工業高校への進学を断念せざるを得ない状況が生じるおそれがあり再編計画の再考を引き続き働きかけていく。



空き缶をスチールとアルミに分別しながらの資源回収

- 国民健康保険世帯へ支援を
- 私道へ支援制度の創設を



藤野 秋男 議員



**質問** 日本は国民皆保険であるが国民が安心して医療が受けられるよう制度化している。しかし、被保険者の負担は協会けんぽ保険料の約2

倍、この負担に耐えかね滞納する人もいる。さらにコロナ禍で収入減となり深刻な影響があらわれている。その認識と独自の軽減策として、子供の均等割減免制度の実施を検討すべきでないか。

**答弁** 加入している被保険者は高齢者も多く低所得者層であることから保険税負担が他の保険制度に比べ重い負担と認識している。子供の均等割の軽減については、制度として国が行うべきであることから全国市長会として要望している。

**質問** 国民健康保険制度における傷病手当金の支給制度は多くの世帯が求めてきた。しかし、ほとんどの保険者は実施していない。今回、新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者等に限定し実施されたが事業主は対象としていない。そこで各市独自の裁量で事業

主を対象とすべきでないか。

**答弁** 国民健康保険の都道府県単位化の中で他市町村との足並みをそろえる必要がある。実施は難しい。

**質問** 生活道路の整備促進を図ることは「生活権」を保障する上からも重要な施策である。そこで、市道に対する整備率の引き上げと共に、私道を活用している世帯や地域に対して資材の提供等、支援制度を創設し生活環境の整備向上を図る考えはないか。

**答弁** 生活道に関する市道の整備率が50%以下であることから、市道の整備率を引き上げることが重要であり、私道への支援は現在検討していない。



側溝の整備が待たれる市道



岩渕 まさる 議員



### ○ 地方創生は ○ 少子化対策は ○ 子育て支援は

#### 若者への支援は

**質問** 職種に関わらず若者への奨学金返還に対する補助を行う考えはないか伺う。

**答弁** 今後支援希望者の状況の推移を見ながら検討する。

**質問** 企業と連携し奨学金返還支援をすべきではないか。

**答弁** 一つの検討材料とする。

**社会福祉型テレワークへの取り組みは**

**質問** ICTを活用し、子育て世代の親や障がい者、高齢者、介護者、ひきこもりなど、多様な方々が、時間にとられず仕事ができる機会を創出していく、社会福祉型テレワークに取り組んで行く考えがないか伺う。

**答弁** 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略において、実施の可能性を検討している。

**合計特殊出生率の向上は**

**質問** 出生率の向上のために、どのような新たな取り組みを行うのか。

**答弁** 子育て世代への直接的な支援に加えて、若者が希望

する職種の創出、仕事と生活が調和した働き方への理解と実現、中心市街地の魅力の創出に取り組む。

**新婚新生活支援事業の充実は**

**質問** 国の支援事業は、条件緩和が予定されているが、当市の取り組みについて伺う。

**答弁** モデル事業に参加し、引き続き若者世代の結婚支援に取り組んでいく。



厳美・健康の森に設置されたテレワーク室

小学校入学時におきる仕事と子育ての両立の悩みに対して、どのように応えていくのか伺う。

**質問** 小学校入学時におきる仕事と子育ての両立の悩みに対して、どのように応えていくのか伺う。

**答弁** 放課後児童クラブの設置については、地域の方々と一緒になって検討していく。

栗登一平政策と県境地域の課題は

地域医療と新型コロナウイルス対応は

調査・測量設計の入札は

4つの首長が懇談している栗登一平連携の成果は。

同じ生活圏域というくくりの中で共通課題解決のため連携を強化する必要がある。首都圏での観光物産展、農産物のPR等の地産外展活動、台湾での観光プロモーション活動、介護人材育成研修会、婚活イベント、移住セミナーなどを実施してきており、今後も連携を推進していく。

**質問** 県境を越えた市営バスの相互乗り入れはできないか。

**答弁** 地域公共交通形成計画において、隣接市町との連携強化を掲げている。花泉南端は宮城県北地域と同一の日常生活圏であることから、市町を越えたバス路線の導入を含めた交通施策について今後も意見交換を行っていく。

**質問** 医療機関の偏在は地域住民の不安に繋がっており、花泉地域医療の拡充について伺う。

**答弁** 医療機関、医師数、診療科などの偏在は大きな課題であると認識している。



佐藤 けいいちろう 議員



### ○ 栗登一平政策と県境地域の課題は ○ 地域医療と新型コロナウイルス対応は ○ 調査・測量設計の入札は

花泉地域住民は地域医療に対して不安を抱いているものと捉えている。同地域の医療体制維持のため花泉地域診療センターの担う役割が大きいことは確認している。花泉地域の医療提供体制の要として、花泉地域診療センターの体制整備について県と意見交換を行い要望していく。

**質問** 業務の地元企業優先発注はできないか。

**答弁** 市の建設関連業務における発注の考え方は雇用の確保、地元経済の活性化への効果などの面を踏まえて、地元企業への優先発注を進め、地元企業の受注機会の確保に努めている。物品調達なども地元企業を優先していく。

花泉地域診療センターの体制整備と拡充を

花泉地域診療センターの体制整備と拡充を

花泉地域診療センターの体制整備と拡充を

花泉地域診療センターの体制整備と拡充を

花泉地域診療センターの体制整備と拡充を

花泉地域診療センターの体制整備と拡充を

花泉地域診療センターの体制整備と拡充を

花泉地域診療センターの体制整備と拡充を

花泉地域診療センターの体制整備と拡充を

花泉地域診療センターの体制整備と拡充を

花泉地域診療センターの体制整備と拡充を

花泉地域診療センターの体制整備と拡充を



花泉地域診療センターの体制整備と拡充を

- 新型コロナウイルス感染症対策は
- 介護施設、障がい者施設等の感染防止対策は
- 認知症高齢者の支援策は



岡田もともみ 議員

**質問** 発熱等の症状はPCR検査を必要だと考えるのがいいか。

**答弁** 市が独自に検査を実施することは考えていないが、改めて感染防止対策を講じるよう徹底していきたい。

**質問** 今困っているのは、マスクよりプラスチック手袋の入手とのことだがいいか。

**答弁** 要望等があれば検討していきたい。

**質問** 社会全体で支え合う仕組みを方不明など深刻な社会問題となっている。条例を制定し、認知症診断料の負担や事故に遭われた場合の救済制度の取り組みを検討してはどうか。

**答弁** 具体的な検討はないが、情報収集に努めている。

**質問** 発熱等の症状があつても経過観察と言われ、不安だとの声が複数寄せられた。感染防止には速やかな検査と検査数を拡大することとされているが、実態はどうか。

**答弁** 発熱等の症状があれば必ずPCR検査を行うというものではない。11月からは県の指定を受けた市内の医療機関で、PCR検査等を行える体制となった。

**質問** 新型コロナウイルスが蔓延する中で改善が求められる。災害時に協力いただくホテル等を確保し、重症化しやすい高齢者等を優先的に避難させてほしいがいかか。

**答弁** 当市では、市内のホテル1施設と災害時の協定を締結している。

**質問** 市として社会的検査の実施を介護施設や障がい者施設の方にも既に10カ月緊張感の中で働いている。安心して働くため、職員、入所者等の検査が求められる。感染拡大を防ぐためにも、社会的検査を市として実施することが必要だと考えるのがいいか。

**答弁** 市が独自に検査を実施することは考えていないが、改めて感染防止対策を講じるよう徹底していきたい。

**質問** 今困っているのは、マスクよりプラスチック手袋の入手とのことだがいいか。

**答弁** 要望等があれば検討していきたい。

**質問** 社会全体で支え合う仕組みを方不明など深刻な社会問題となっている。条例を制定し、認知症診断料の負担や事故に遭われた場合の救済制度の取り組みを検討してはどうか。

**答弁** 具体的な検討はないが、情報収集に努めている。



感染を拡大させないポイント

- 産業としての森林・林業施策の方向性
- コミュニティ・スクールの導入
- 部活動の在り方



岩淵 のりさ 議員

**質問** 地域資源の活用による熱料生産（まき、チップなど）から、エネルギー（電気・熱）の生産、流通、消費、そして廃棄物（灰）処理のプロセスで、関連産業が地域に発生し、地域に所得と雇用を生み出す経済の活性化につながるものと考ええる。森林・林業政策をどのように事業として展開していくのか。

**答弁** 伐採して木材を余すことなく有効活用すること、切った後には次の世代に向けて計画的に植えていくことを繰り返すことで持続可能な森林経営を推進していく。

**質問** コミュニティ・スクールの導入により、地域住民等が当事者として学校運営に参画することを通じて、学校と地域の連携・協働体制が組織的・継続的に確立され、「地域とともにある学校づくり」や「課題解決に向けた取組」を効果的に進めることができると考える。コミュニティ・スクール導入の必要性と課題、今後の方向性は。

**答弁** 試行的な取り組みとして、希望する学校を中心に数校以上指定して、コミュニティ・スクールの有効性を研究していく。

**質問** 部活動は、学校と地域が共に子供を育てるという視点に立ち、学校や地域の実態に応じて、地域のスポーツ団体等との連携、保護者の理解と協力等による、学校と地域が協働・融合した形での持続可能な部活動とする必要があると考える。部活動の段階的な地域移行への対応は。

**答弁** 中学校校長会議で、今後、休日の部活動が地域の活動として行われる地域部活動に移行していくという方向性（文部科学省通知）を共有した。



地域とともにある学校づくり



きゅうすけ 佐々木久助 議員

## ○ 空き家、空き店舗の現状と対策は

**質問** 持続できる地域社会の構築に向けて生かすべき空き家の推移と発生の要因、その対策と活用の取り組みについて伺う。

**答弁** 平成25年度から26年にかけて空き家調査員を配置し現地調査を実施し2044件を確認した。危険度や対応の緊急度について判定し所有者に適切な管理をお願いしてきた経緯がある。また、活用方法がわからない、解体費用を捻出できない、相続登記など権利関係が複雑などが要因と捉えている。

空き家の有効活用と当市への移住を促進するため平成25年より空き家バンク事業に取り組み、平成29年度3件、平成30年度10件、令和元年度6件、3年間の合計19世帯32人の方の活用をいただいた。

**質問** 住民が管理していた農地、林地は空き家になった今、集落に及ぼす影響や、この現状をどのように捉えているのか伺う。

**答弁** バンク登録されている空き家の内16%ほどに農地が

付随している。林地については把握できていない。高齢化と人口減の進行により管理されない農地、林地はふえており、病害虫や鳥獣被害の増加、ごみの不法投棄の発生、集落のコミュニティ機能の低下など地域に及ぼす影響は増大していくものと懸念している。

**質問** 空き店舗数の推移と店を閉めるに至った要因について伺う。

**答弁** 平成28年調査では空き店舗数が180店舗だった。本年7月調査では205店舗と増加している。発生要因は、後継者不在による廃業や事業不振による廃業などが挙げられる。



放置された竹林

## ○ コロナ禍で市内の倒産・失業は ○ 今後の行政改革・中長期の市政運営は ○ 児童クラブへの感染対策と支援を



つねのぶ 菅野 恒信 議員

**質問** コロナ禍で市内の倒産、失業の把握しているか。

**答弁** 9月以降11月現在、倒産2社、閉店1社、休業2社、計5社、15人失業者の増である。(累計で倒産など13社・店と失業者などは53人)

**質問** 住民からどのような要望が出ているか。

**答弁** 経済・雇用・資金繰りと感染症対策が多い。

**質問** 市の第4次行政改革策定作業の中で、中長期の市政運営でコロナや災害への体制を考慮しているか。

**答弁** 行政改革大綱は、ICT、情報通信技術活用など4つの基本方針を掲げている。災害には迅速に対応できるようにコロナ禍でも対策本部など柔軟にできるよう検討する。

**質問** 国はデジタル庁を設置し、地方に対し行政サービス提供を行うのではなく、管理するようになってほしいと計画しているが、市はどう考えているか。

**答弁** 市の行政改革にそのような文言はないが、市民、企

業と適切な分担を行う。

**質問** コロナ感染が深刻になており、児童クラブ職員などに定期的PCR検査を行うべきではないか。

**答弁** 行政検査は必要に応じて行うもので、希望して行うものではなく市は行わない。

**質問** 児童クラブ職員に対し慰労金を支給している県内自治体についての把握と当市の支給検討はできないか。

**答弁** 盛岡市では、1万2千円支給している。

**質問** 3密に環境の児童クラブ職員に慰労金を市独自に支給できないか。

**答弁** 国が考えるべきであり県を通じて国に要望していく。



市民幸福のトリデ がんばって

○「磐井牛」ブランドの復活を  
○総合計画後期基本計画策定作業への疑問



千田 良一 議員



「磐井牛」は出ていない。現時点で生産者、関係団体とブランド名について協議しなければならぬ状況にはない。

**質問** ①総合計画後期基本計画策定にあたり、審議会委員はじめ多くの方々から多くの意見、提案をいただいているが、前期基本計画との関連から取り上げられなかったもの

**答弁** 平成21年に旧岩手南農協・同生産部会、旧いわい東農協・同生産部会、一関市、平泉町、藤沢町が協議、旧西の「岩手南牛」と旧東の「いわて牛」を統一して「いわて南牛」を決定した。その際に「磐井牛」は出ていない。現時点で生産者、関係団体とブランド名について協議しなければならぬ状況にはない。

**質問** 市町村合併前の一関地方には「いわい牛の里」の看板が多く見られた。現在の「いわて南牛」では区域が広過ぎてどこの生産であるかわからない。かつての「磐井牛」ブランドを復活するため関係団体と協議する考えはないか。「いわて南牛」はふるさと応援寄付の返礼品にもなっていない。地産外商の推進、一関のめぐみのブランド化推進のためにもどうか。



平安時代に遡る名称「磐井」の復活を

**答弁** ①市政全般についての多くの意見等をいただいた。今後も関心を持ちまちづくりに参画いただきたい。②目的、手段とは捉えていない。同時進行と考えるイメージだ。

についてはどう考えるのか。  
②重点プロジェクト2として「I・L・Cを基軸としたまちづくり」を掲げてあるが、子どもたちが科学を学び、科学に通じた市民が多くなるような立市、まちづくりを目指す手段としてのI・L・Cならわかるが、国が取組むことも決定していない国際プロジェクトを、一関市の「基軸としたまちづくり」に掲げることは、目標と手段がひっくり返っていないか。

会議等出席状況

10月から12月までの定例会・常任委員会・特別委員会等について出席状況をまとめたものです。数字の入っている項目が、各議員の所属している委員会です。

議員氏名	開催総日数	柳山隆	沼倉憲二	岩淵典仁	佐藤幸淑	小澤由利	岩淵寿一	武田ユキ子	那須茂一郎	門馬功	佐々木久助	千田良一	佐藤敬一郎	菅原巧	岡田もとみ	千葉恒信	金野盛志	勝浦伸行	小山雄幸	千田恭平	千野道雄	橋本周一	藤野秋男	石山健	岩淵善朗	千葉幸男	佐藤雅子	
第79回臨時会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
第80回定例会	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
総務常任委員会	3				3	3	2	2	3														3			3		
産業経済常任委員会	3	3	3								3	3				3				3			2					
建設常任委員会	5							3			5				5	4		5	5			5						
教育民生常任委員会	7		7				7						7	7						7	7				7		7	
建設常任委員会・総務常任委員会連合審査会	1				1	1	1	0	0	1	1				1	1		1	1			1	1		1		1	
議会報編集特別委員会	3		3			3		3	3	3			2			3	3											
放射能被害対策特別委員会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
放射能被害対策特別委員会幹事会	1		1				1	1	1	1							1		1						1			
資源・エネルギー循環型まちづくり調査特別委員会	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	
資源・エネルギー循環型まちづくり調査特別委員会幹事会	1						1	1	1			1	1			1				1	1							
ICT活用推進プロジェクトチーム会議	3		3	3		3	3	3	3	3	3	3	3		3	3		2										
議員全員協議会	3	3	3	3	3	3	3	3	0	3	3	3	3	3	3	3	2	3	2	1	2	3	3	3	1	3	3	
議会運営委員会（議会改革）	8	7	8				8					8					8	8				8	8	8				
議会運営委員会	5	5	5				5	5	3			5					5	5				5	4	5				

一般質問



第79回一関市議会臨時会は、11月4日の1日間の会期で開催しました。今議会では、報告1件、議案4件で、令和2年度一関市一般会計補正予算(第9号)、令和2年度一関市市営バス事業特別会計補正予算(第2号)及び財産の取得に関する議案について質疑が行われ、採決の結果、全議案が満場でも可決しました。

なお冒頭、勝部市長から、新型コロナウイルス感染症に関し県から情報提供があり、昨日11月3日、市に在住の方が感染症指定医療機関に入院した。濃厚接触者など詳細は一関保健所で調査しているところである。感染されている方へのお見舞いと一日も早い回復をお祈りしているとの行政報告がありました。

# 議案審議

審議した主な案件は次のとおりです。

## 補正予算

- 議案第88号 令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策として、事業費の増額や追加と、県の補正予算で措置された感染症対策市町村総合支援事業費補助金 (第9号)

の財源充当のほか、道路維持補修費などの事業費について、所要の補正として4億3862万円を追加するもの。

**質疑** 観光施設への助成についてかなり浸透してきているようであるが市内の使用状況はつかんでいるか。

**答弁** 宿泊の補助関係で、7月から9月末の期間は大変好調な実績で、6146人の使用となっている。今後の目標として3万9000人を計画している。

(賛成満場で可決)

○議案第89号 令和2年度一関市営バス事業特別会計補正予算(第2号)

高齢者の外出及び社会参加を支援するため、モデル地区を定め、75歳以上の方の市営バス使用料の無料化を試行するもので、相当額を市営バス特別会計へ拠出するもの。

**質疑** このモデル地区1カ所という選定は少ないのではないか。各地域単位で1カ所にできないのか。

**答弁** 今回は1カ所の実証実験にし、この実証実験の結果を踏まえ、さらに広げる必要があるは今後検討して行きたい。

(賛成満場で可決)

## 財産取得

○議案第90号 財産の取得について

市立小中学校44校の児童生徒の学習タブレットを8504台取得するもので、6億9619万円で契約する。入札参加が1社だけで随意契約となり、相手方はリコージャパン(株)販売事業本部岩手支社岩手営業部となる。

**質疑** タブレットや教材ソフトが入っても教える指導員・支援員が1人しか配置されていないのでは問題ではないか。国は4校に1人の配置計画となっている。

**答弁** ICT指導員は現在1人であるが、GIGASスクールポーター、ICT支援員を来年度から市内の小中学校を幾つかのグループに分けて、グループに1人配置し、そこで研鑽を積み形としたい。

(賛成満場で可決)

○議案第91号 財産の取得について

市立小中学校用44校のタブレットの充電保管庫312台を整備するもので、3058万円で契約するもので、指名競争入札の結果、(株)カミヤが落札した。

**質疑** タブレット充電保管庫312台で、予定価格と入札額との差が大きいかなぜか。

**答弁** 全国的に需要が大きくなって価格が低下しているところで見ている。

(賛成満場で可決)

## 専決処分

○報告第16号 道路の管理に係る損害賠償に関する専決処分の報告について



令和3年1月8日「通年議会」がスタート

# 議会運営委員会

委員長 勝浦 伸行

## ●通年議会

一関市議会では、議会運営委員会において、平成30年1月からおよそ50回に及ぶ会議を重ね、議会改革に取り組んできました。その一環として、「より開かれた議会・信頼される議会を実現するため、議会機能を強化し、議事機関としての責務を果たすとともに、執行機関の行政活動を継続して監視することにより、緊急かつ不測の事態に対する迅速な審議決定ができる議会運営体制を整える。」



「通年議会」の招集会議で議長が決意表明

ことを目的として、「通年議会」の導入について検討を重ねてきました。その結果、令和2年12月定例会において会議規則の改正を行い、令和3年1月からのいよいよ「通年議会」がスタートしました。

通年議会制導入後初めての招集会議において、槻山議長は議会を代表して、「改革の歩みを止める事なく、市民に開かれた議会、行動する議会を目指し、一丸となって邁進していく。」と決意を述べました。

議会運営委員会では、今後以下の項目について議論を進め、可能な限り今年度中に結論を出すこととしています。

## ●常任委員会の見直し

令和2年6月定例会において次期改選から議員定数を26人に減ずる決定をしたことを受け、議会活動の活性化を図るには常任委員会の活性化が重要であるという共通認識のもと、4常任委員会から3

常任委員会への移行を前提に、委員会構成や所掌の見直しについて検討を進めています。

## ●議会基本条例に基づく取り組みの検証

基本条例に基づく取り組みを実施しているかどうかについて、会派ごとに検証を行い、議会運営委員会として取りまとめを行う段階に入っています。また、今後の議会活動においては、広聴広報の役割がますます重要となることから、市民と議員の懇談会の、多様な開催手法や、SNSを初めとしたさまざまな媒体を活用した情報発信の手法など、今後の広聴広報のあり方についても検討を進めています。

今後においては、これまで検討を行ってきた改革項目に真摯に取り組むとともに、より開かれた議会、市民に信頼される議会を目指し、さらなる改革に取り組んでまいります。



# 大学生とのオンライン

# 意見交換会



一関市議会では、市民に開かれた議会を目指し、議会基本条例に基づき議会改革に取り組んでおります。その一環として一関市出身の大学生とのオンライン意見交換会を、ウェブ会議システム「Zoom」を使って、初めて令和2年11月30日に開催致しました。

目的は、多くの方々からさまざまなご意見をいただき、議会活動に活かしていくこと。今回のオンライン意見交換会は、一関市から離れてみてのふるさとへの思い、将来のまちづくり、今困っていることなどについて意見交換を行いました。はじめに、主催者を代表し

て議会運営委員会の勝浦伸行委員長より趣旨説明を行った後、榎山隆議長が参加した学生に対して、忌憚のないご意見をいただきたいと呼びかけました。

当初、大学生ら6名の方から参加申し込みがありましたが、当日は都合により2名の参加となりました。

まず、参加議員7名が一人ずつ自己紹介を行ったあと、大学生のお二人からも自己紹介があり、その後、いちのせき市民活動センターの小野寺浩樹センター長のコーディネートで意見交換会を進めました。最初に小野寺センター

長から、一関市がコロナ禍の中、親元から離れて暮らす学生の生活を応援する「うまいもんまるごと贈って学生応援」についての感想を求め、学生からは、レトルト食品や米などが入っているととても助かったとの声が聞かれました。

引き続き、議員と学生の皆さんとの意見交換を行いました。

主な内容は、次のとおりです。

**議員** ふるさとを離れるきっかけはどのようなことだったのでしょうか。

**大学生** 一時期休んでいた習い事を続けるためにです。一関市からは出たくなかったのですが、出てみると一関市に対する見方がちよつと変わったので、いい経験になりました。

**大学生** 大学への進学のためです。一関市で学べるならばとどまっていたかたのですが、学びの場ということで大学を選びました。

**議員** 将来、一関市に戻り仕事をしたいという希望はありますか。

**大学生** はい。リスクはありますが起業したいと思っています。

**大学生** あります。必ず戻ります。農業関係で起業したいと思っています。

**議員** 一関市議会に期待することや、感想をお聞かせ下さい。

**大学生** 市民の意見を聞いているところがすごい。今回のような意見交換会で直接話し合えたのがよかったです。またの開催を期待します。

**大学生** 議事録を読みました。賛成、反対のどちらの意見もあつてすごよかったです。期待することとは、コロナ禍に対しては、継続的に迅速な対応をお願いいたします。

最後に、議会運営委員会の勝浦伸行委員長から、参加した学生の皆さんに対して、「本日は大変貴重な意見を伺い参考になりました。またこのような機会をつくりたいと思っております。友だちにも広めていただきたい。本日は本当にありがとうございます。」と御礼を述べ終了しました。初めてのオンラインでの意見交換会でありましたが、次につながる非常に有意義な取り組みであったと確信しています。

令和2年度上期分

市民と議員の懇談会報告

懇談会報告

市民と議員の懇談会の開催に際し、多くの皆様にご参加いただき、さまざまなご意見をいただき、感謝申し上げます。

一関市では、協働によるまちづくりを進めており、地域ごとに話し合いが行われ、地域協働体を設立、それぞれ地域づくり計画を作成し、地域課題の解決に取り組んでいます。

さらに市民センターの指定管理者制度が導入されました。

そのような状況を踏まえ、今回は「地域協働について考える」を共通のテーマとし、すべての地域協働体を対象に、令和2年度上期・下期と令和3年4月の3回に分けて懇談会を開催します。

上期は、地域協働体の方々を対象とした11会場と、地域を限定しない1会場の計12会場で実施し、169名の市民の皆様にご参加いただきました。

懇談に当たっては、できるだけ参加者全員に発言していただく

め、ワークショップ形式やワールドカフェ方式を取り入れ、地域協働体としての取り組みや成果、地域協働体の運営で難しいことや課題、今後のあり方などの話を伺いました。

上期の日程終了後に、いちのせき市民活動センターの小野寺浩樹センター長を講師に、協働（協働体）と議会の関わりについて再確認を行うとともに、懇談会でいただいた意見等を整理し分析を行いました。

地域協働の成果や課題など次のものが挙げられました。  
● 地域協働体ができて課題の収集ができるようになってきている中でも、人材、若者、空き家などの課題が共通しているのが見えた。

- 若者の地域デビューはPTAがきっかけになっている。
- 先行している地域協働をみているが、財源が不足している。
- 県際の対応の違いに悩みがある

（新型コロナウイルス）

- 各自治会とのかかわりに悩んでいる（自治会との関係構築）。
- 関が丘地区は2つの通学区域になっており課題である。
- 行政が手を出してくれなくなつた。もつとかわわってほしい。
- 地域協働体ができて地区の垣根を越えて情報交換ができるようになった。
- 地域協働体の役割は自治会をサポートすることに移行している。
- 田河津小学校の跡地利用の話合いがうまくいって、現市民センターとして使っている。
- 住民の参加もさまざまできるようになった。
- 川崎地域は、ポストを設置して課題を集約している。御用聞きなどの議員はいらない。

など。

さらに、各会場で寄せられたご意見・課題などを4常任委員会で調査、検討を行い、市長への提言

が必要と思われる事項について、11月30日に市長に提言しました。下期の懇談会でのご意見と、令和3年4月に開催予定の懇談会でいただいたご意見などは、各常任委員会で調査検討を行い、令和3年7月頃までに市長に提言いたします。



## 令和2年度上期分の懇談会の状況

### ◎フリー参加の会場

会場	開催日	班	参加者数
川崎市民センター	8月2日(日)	1	5

### ◎地域協働体との懇談

地域協働体	開催日	班	参加者数
老松みどりの郷協議会	8月3日(月)	2	11
金沢ふるさと協議会	8月3日(月)	3	14
藤沢町住民自治協議会	8月3日(月)	1	11
小梨自治振興協議会	8月3日(月)	4	13
弥栄地区まちづくり協議会	8月6日(木)	1	18
油島なのはな協議会	8月6日(木)	2	14
田河津振興会	8月7日(金)	4	7
猿沢地区振興会	8月7日(金)	2	21
室根まちづくり協議会	8月7日(金)	3	17
関が丘まちづくり協議会	8月11日(火)	3	19
川崎まちづくり協議会	8月11日(火)	4	19

### 【議員班編成名簿】 ◎は班長

班	議員
1	◎岩淵 優、勝浦 伸行、永澤 由利、佐藤敬一郎、菅野 恒信、小山 雄幸、千葉 大作、岩淵 善朗
2	◎金野 盛志、橋本 周一、佐藤 幸淑、小岩 寿一、門馬 功、菅原 巧、岡田もとみ
3	◎佐藤 浩、藤野 秋男、岩淵 典仁、那須茂一郎、千葉 幸男、佐藤 雅子、沼倉 憲二
4	◎小野寺道雄、武田ユキ子、佐々木久助、千田 良一、千葉 信吉、千田 恭平、石山 健



懇談会報告

# 11月30日に行った市長への提言事項

1	市民センターが地域づくりの活動拠点として活用されるよう、地域協働体への支援の充実を図ること
2	空き家の増加により、地域の活力の低下を招いていることから、空き家をテレワーク等に低額で利用できるようにするなど、より効果的な対策を検討すること
3	市民からは屋外マスト増設の要望があるが、屋外マストによる全世帯への防災情報や行政情報の提供は地形的な問題もあり効率的ではないことから、FMあすもの多様な機能を活用し、地域ごとの適切な情報が取れるよう検討、充実を図ること
4	高齢化の進行や運転免許証の自主返納が進み、今後ますます高齢者の移動支援が必要となることから、デマンド交通の導入など地域や市民のニーズに即した施策を、スピード感を持って実施すること
5	企業誘致の促進とともに、地元企業の雇用環境の充実を図ること
6	地域産業の柱となる農業について、経営安定を図る上にも、積極的な政策を講ずること
7	鳥獣被害対策の拡充を図ること
8	幹線市道及び生活道路に対する予算を拡充し、整備の促進に努めること
9	汚水処理施設の整備促進に一層の注力をする
10	国、県所管道路の社会資本整備を関係機関に強力に要請し、実現すること
11	大雨等自然災害の大規模化に備えるため、国、県と連携し、内水対策の強化に努めること
12	高齢者を支える人材育成の強化を図ること 在宅医療・訪問看護に係る専門知識や経験を備えた医療専門職支援人材を確保するための支援策整備を図ること
13	医療・福祉サービスの提供を継続的に実施し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な支援を実施すること
14	安心して子育てができる場所作りを行うこと 教育・保育、地域の子ども・子育て支援の量的拡充及び質の向上を図ること



懇談会報告

## ICT活用推進プロジェクトチームの設置

座長 岩 淵 典 仁

本ICT活用推進プロジェクトチーム（以下、ICT活用推進PT）は、第78回定例会において議会議長より提案され全会一致により設置されたものです。

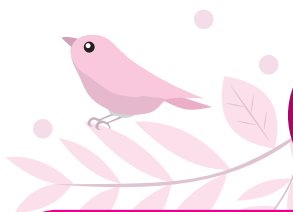
### 設置目的

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが背景にあり、新型インフルエンザ等対策特別設置法、さらに、一関市新型インフルエンザ等対策行動計画などを遵守する感染症防止対策および議会における円滑な委員会運営が求められ、かつ、参集困難な災害時における適用にも備える必要性によるものです。

本ICT活用推進PTに課せられたミッション（課題）は、オンライン会議の実質運用におけるセキュリティの問題や条例・規則等との兼ね合い、使用するアプリケーションの選定や機器操作、進行方法の検討などです。

本市議会においては、令和元年10月にタブレットを導入しています。

災害対応はもとより、今般の新型コロナウイルス感染症等、今後起こり得る参集困難な事態に備え、本市議会が採り得る最善の会議の手法、情報伝達および情報収集の手法を議会全体で議論し、不断の最適化に努めていきます。



# 市民の声

ご意見などをお寄せいただきましたので、ご紹介します。

『明けない夜はない』を信じて



やすか 泰佳さん  
千厩町千厩

千厩町奥玉にあります社会  
法人寿慶会が運営する特別養  
護老人ホームひなた苑に勤務  
しています。

この施設は入所者の方々が『暮らしの継続』ができるように支援をしています。旧奥玉中学校の跡地で隣接して保育園があり、自宅の自室が移ってきたような環境です。

新型コロナウイルスに『感染しない、感染させない』を合言葉に、県外はもとより市外への外出についても制約があり、この1年は遠方にいる友人にも会えない状況ですが、安心して暮らせるためには、今は我慢の時と思います。

新型コロナウイルスを収束させるために、従来の生活スタイルを見直してみませんか。

まちおこし



かずゆき 和行さん  
室根町矢越

私はいちのせきハラミ焼な  
じよったべ隊でまちおこし活  
動をしております。なじよっ  
たべ隊は2011年に設立し  
て早10年になります。一関市  
内の若者が中心にご当地グル  
メのいちのせきハラミ焼を用  
いて一関の観光地、お祭り、  
食を全国にPRしております。

一関も人口減少、少子高齢  
化社会と厳しい現実ではあり  
ますが、限られた若者でアク  
ションを起こす事で、まちの  
活性化に微力ながら貢献して  
いきたいですし、今後の目標  
として『まちおこしの祭典B  
11グランプリ』を一関で開  
催できるよう努力していきたい  
と思います。

## ● 議会を傍聴しませんか ●

- 2月通常会議は2月下旬に開会予定です。  
※通年議会の導入により、会議の呼称が変更となりました。  
詳しい日程などは議会事務局へお問い合わせください。
- 議場で傍聴する場合は、マスクの着用と手指の消毒、間隔をあけた着席をお願いします。
- 通常会議の様子は下記の媒体でご覧いただけます。  
【生中継】一関ケーブルテレビ、市ホームページ  
【録画】市ホームページ  
【録音】FMあすも（一般質問のみ）

12月定例会の傍聴者数 82人

スマートフォンやタブレット  
端末でもご覧いただけるよう  
になりました。



## ● ご意見・ご感想をお寄せください ●

議会だよりを読んで感じたことや、議会についてのご意見などをお待ちしています。  
議会だよりは市のホームページでご覧いただくこともできます。

〒021-8501 一関市竹山町7番2号 議会事務局 (TEL21-8604 / FAX26-5556)

議会メールアドレス [gikai@city.ichinoseki.iwate.jp](mailto:gikai@city.ichinoseki.iwate.jp)

一関市議会

検索

## 一関市議会モニター (仮称) を募集します

一関市議会では、開かれた議会を目指し、議会運営に関するご意見など広く市民の方々から頂戴するため、議会モニター（仮称）を募集いたします。

詳細については、令和3年4月に市議会ホームページでお知らせしますので、皆様のご応募をお待ちしております。

# あんなところ。 こんなところ



## 岡田太子堂は藤沢熊館にあり

岡田太子堂は藤沢熊館にあり、かつては氏子11名で聖徳太子を祭っておりました。近年は所願成就や安産祈願でも参拝されております。

ご本尊は、高さ2尺の木造仏立像で安永風土記には「御自作之由申伝」（ごじさくのよしちゆうてん）と記録されております。江戸時代の和算家伊東久米蔵門人の算額や俳人高橋東臯（とうこう）の門人らの俳句額、狩野派画家佐藤雪洋の画など文化的に優れたものが奉納されております。



### 【表紙解説】

千歳保育園で「クリスマス会」が開催されました。園には0〜5歳児まで、現在88名（男45名、女43名）が通園しています。クリスマス会は、例年、ホールに全園児が集まって実施していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症予防の対策として各クラスでの実施となりました。

当日は、サンタさんが各クラスを訪れ、子どもたちにプレゼントが渡されていきました。園児たちはみんな大喜びで、サンタさんに「ありがとございましてー」と大きな声で伝えていました。また、サンタさんに「どこからきたのですか？」「なぜ、赤い色を着ているのですか？」と元気に質問をしていました。

園児は、クリスマス会（行事）を通して、お約束を守ったりお話をよきいたり、お友達と仲良くするなど、よい子にしている、ちゃんとサンタさんは来てくれる（夢が叶う）ことを経験する中で、心が育まれているのだと感じました。



### あとがき

新型コロナウイルス感染症が話題になって1年、しばらくは感染者ゼロが続いた岩手県も今では、先の見えない不安と警戒心をもって令和3年を迎えた。今までの生活スタイルが通らない現実の中、今後を考えている方が多いのではないだろうか。

コロナ禍後の地域社会づくりのキーワードは脱炭素社会だそう。住宅太陽光利用など生活の形を見直すことで再エネ自給自足のくらしをと言われている。

議会も、市民の皆さんにとって必要な施策であるか、タイムリーであるかに意を取りながら期待される取り組みをめざしたいもの。

編集委員 佐々木久助

### 議会報編集委員

委員長	千葉信吉
副委員長	小岩寿一
委員	岩渕典仁
委員	那須茂一郎
委員	門須功
委員	佐々木久助
委員	佐藤敬一郎
委員	菅野恒信

印刷／内藤印刷舎



この印刷物は環境にやさしい植物系インキを使用しています。再生紙を使用しています。

発行／岩手県一関市議会  
電話／0191-21-8604

住所／一関市竹山町7番2号  
FAX／0191-26-5556

編集／一関市議会報編集特別委員会  
E-mail:gikai@city.ichinoseki.iwate.jp